

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

	学 年	4 学年次	平均
	学 期	前学期	
	科 目 名	看護管理論	
	受 講 者	101名	
	回 答 数	66名	
	回 答 率	65.3%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	3.77	3.77
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	3.89	3.89
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4.00	4.00
4	提供された資料などは適切だった。	3.95	3.95
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	3.70	3.70
6	授業は分かりやすかった。	3.76	3.76
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	3.76	3.76
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	3.97	3.97
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4.08	4.08
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	3.74	3.74
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4.20	4.20
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	3.85	3.85
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	3.83	3.83
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4.09	4.09
15	論理的に考えられるようになった。	3.86	3.86
16	問題発見・解決能力が得られた。	3.95	3.95

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	平均
学 期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	
科 目 名	保健医療福祉行政論Ⅱ(特)	治療・回復過程援助論Ⅱ	療養生活支援論Ⅱ	クリティカルケア論	ターミナルケア論	老年看護学援助論	精神看護学援助論	地域看護学援助論	看護研究方法論		
受 講 者	1名	104名	104名	103名	103名	104名	104名	104名	104名		
回 答 数	1名	30名	35名	13名	56名	90名	36名	39名	61名		
回 答 率	100.0%	28.8%	33.7%	12.6%	54.4%	86.5%	34.6%	37.5%	58.7%		
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	5.00	4.13	3.83	4.08	4.05	4.00	4.08	4.08	3.98	4.14
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	5.00	3.97	3.83	4.08	4.07	3.98	4.06	4.10	4.02	4.12
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	5.00	4.20	4.17	4.08	4.13	4.03	4.11	4.10	4.05	4.21
4	提供された資料などは適切だった。	5.00	4.20	4.11	4.08	4.05	4.04	4.00	4.10	3.98	4.18
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	5.00	4.10	3.80	4.08	4.00	3.94	4.06	4.03	3.90	4.10
6	授業は分かりやすかった。	5.00	4.10	3.83	3.92	4.02	4.03	3.97	4.03	3.89	4.09
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4.00	4.13	4.00	4.23	4.00	4.04	4.11	4.03	4.02	4.06
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	5.00	4.10	3.89	4.08	4.14	4.14	3.97	4.13	4.07	4.17
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4.00	4.27	4.20	4.31	4.14	4.08	4.14	4.10	4.03	4.14
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4.00	4.37	4.06	4.08	4.04	4.02	4.11	4.05	4.05	4.09
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4.00	4.23	3.89	4.08	4.09	3.99	4.06	3.95	4.03	4.03
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	5.00	4.40	4.11	4.23	4.11	4.03	4.25	4.05	4.00	4.24
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	5.00	4.23	3.97	4.15	4.16	4.03	3.97	4.00	3.98	4.17
14	新しい知識や好奇心が得られた。	5.00	4.37	4.09	4.08	4.20	4.09	4.08	4.03	3.98	4.21
15	論理的に考えられるようになった。	5.00	4.20	3.80	4.15	4.07	4.07	3.92	3.95	3.92	4.12
16	問題発見・解決能力が得られた。	5.00	4.23	3.97	4.15	4.07	4.06	4.06	3.97	3.92	4.16
		76.00	67.23	63.54	65.85	65.34	64.59	64.94	64.69	63.82	66.22

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	平均
学 期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	
科 目 名	心理学	医療英語	家族社会学	ヒューマンシクシアリティ論	臨床薬理学	病態治療学Ⅰ	病態治療学Ⅱ	病態治療学Ⅲ	臨床栄養学	公衆衛生学	看護学原論	基礎看護技術Ⅱ	看護過程論	成人看護学概論	感染と看護		
受 講 者	100名	9名	2名	2名	101名	99名	98名	99名	98名	98名	98名	97名	99名	98名	98名		
回 答 数	26名	4名	1名	1名	29名	22名	27名	11名	28名	31名	19名	23名	47名	22名	20名		
回 答 率	26.0%	44.4%	50.0%	50.0%	28.7%	22.2%	27.6%	11.1%	28.6%	31.6%	19.4%	23.7%	47.5%	22.4%	20.4%		
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	3.92	4.75	3.00	5.00	3.90	3.45	3.56	3.73	3.64	3.61	3.95	3.96	4.00	3.86	3.85	3.88
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4.04	4.75	4.00	4.00	4.10	3.45	3.63	3.73	3.75	3.77	3.95	4.04	4.00	3.91	3.95	3.94
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4.15	4.75	4.00	5.00	4.21	3.68	3.74	4.18	3.82	3.81	4.11	4.22	4.38	4.05	4.20	4.15
4	提供された資料などは適切だった。	4.27	5.00	4.00	5.00	4.38	3.50	3.63	3.91	3.68	3.52	4.16	4.13	4.17	3.95	4.20	4.10
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4.58	4.50	4.00	5.00	4.10	3.32	3.22	3.36	3.54	3.00	3.84	4.17	4.04	3.73	3.85	3.88
6	授業は分かりやすかった。	4.42	4.75	4.00	5.00	4.34	3.09	3.48	3.82	3.82	3.19	4.00	4.17	4.06	3.77	4.10	4.00
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4.31	5.00	4.00	5.00	4.31	3.50	3.67	3.82	3.96	3.06	4.11	4.30	4.28	3.95	4.15	4.09
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4.08	4.75	4.00	5.00	4.00	3.50	3.74	3.45	3.71	3.94	4.00	4.09	4.09	3.95	3.85	4.01
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4.15	4.75	4.00	5.00	4.14	3.55	3.70	3.73	3.71	3.65	3.95	4.26	4.32	3.82	4.00	4.05
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4.04	4.75	4.00	5.00	3.76	3.32	3.67	3.45	3.57	3.52	3.84	4.13	4.21	3.59	3.75	3.91
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4.04	4.75	4.00	5.00	3.76	3.41	3.59	3.55	3.57	3.45	3.95	4.13	4.17	3.77	3.95	3.94
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4.27	4.75	4.00	5.00	4.00	3.55	3.67	3.55	3.68	3.52	3.89	4.30	4.62	3.82	4.05	4.04
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4.50	4.75	4.00	5.00	4.00	3.55	3.48	3.55	3.64	3.39	3.89	4.17	4.30	3.64	3.95	3.99
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4.38	4.75	4.00	5.00	4.17	3.55	3.85	3.55	3.79	3.61	4.00	4.30	4.51	3.86	4.15	4.10
15	論理的に考えられるようになった。	3.85	4.75	3.00	5.00	3.69	3.45	3.56	3.36	3.61	3.13	4.00	4.04	4.13	3.64	3.80	3.80
16	問題発見・解決能力が得られた。	4.00	4.75	3.00	5.00	3.76	3.36	3.44	3.36	3.54	3.29	3.89	3.96	4.19	3.64	3.85	3.80
		67.00	76.25	61.00	79.00	64.62	55.23	57.63	58.09	59.04	55.45	63.53	66.39	67.47	60.95	63.65	63.69

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	平均
学 期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	
科 目 名	文学	哲学	憲法学	文化人類学	政治学	経済学	情報科学	数学	生物学	化学	物理学	国語表現法	英語 I	形態機能学 I	形態機能学 II	運動の科学	看護基礎論	援助的関係論		
受 講 者	11名	94名	77名	85名	22名	7名	103名	103名	95名	94名	28名	103名	102名	102名	103名	55名	103名	103名		
回 答 数	10名	76名	67名	55名	16名	7名	48名	78名	68名	78名	24名	47名	56名	78名	66名	48名	74名	73名		
回 答 率	90.9%	80.9%	87.0%	64.7%	72.7%	100.0%	46.6%	75.7%	71.6%	83.0%	85.7%	45.6%	54.9%	76.5%	64.1%	87.3%	71.8%	70.9%		
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	3.60	4.29	4.19	4.07	4.19	4.14	3.88	4.05	4.32	4.08	4.17	3.70	4.14	3.56	4.27	3.88	4.20	4.03	4.04
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	3.70	4.38	4.28	4.24	4.19	3.71	4.04	4.19	4.34	4.05	4.29	3.72	3.98	3.58	4.32	4.04	4.36	4.25	4.09
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	2.80	4.14	3.93	4.09	4.00	3.86	4.10	3.99	4.41	4.17	4.38	3.74	4.16	3.94	4.61	4.10	4.57	4.40	4.08
4	提供された資料などが適切だった。	3.70	4.22	4.22	4.33	4.38	4.29	4.29	4.19	4.31	4.41	4.58	3.74	4.23	3.32	4.68	4.29	4.57	4.51	4.24
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	3.30	4.33	4.45	4.49	3.88	3.86	4.21	3.72	4.51	4.17	4.42	3.72	4.00	3.04	4.52	4.21	4.30	4.32	4.08
6	授業は分かりやすかった。	3.40	4.21	4.34	4.27	4.13	3.57	4.27	3.90	4.29	4.42	4.58	3.77	4.20	2.51	4.65	4.27	4.53	4.41	4.10
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4.00	4.38	3.61	4.00	4.13	4.14	3.83	4.12	4.35	4.13	4.67	3.94	4.00	2.94	4.58	3.83	4.68	4.53	4.10
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	3.50	4.16	4.22	4.13	4.38	4.57	4.02	4.14	4.38	4.13	4.58	3.77	4.00	3.69	4.33	4.02	4.27	4.15	4.14
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4.30	4.46	4.58	4.36	4.19	3.86	4.50	4.36	4.25	4.33	4.83	3.98	4.34	3.79	4.73	4.50	4.53	4.55	4.36
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	3.70	4.05	4.40	3.95	4.13	3.00	3.60	4.23	4.15	3.99	4.17	3.77	4.21	3.91	4.42	3.60	3.97	3.78	3.95
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	3.70	4.28	4.40	4.07	4.25	2.71	3.83	4.37	4.19	3.96	4.29	4.09	4.25	3.79	4.36	3.83	4.34	4.27	4.06
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4.10	4.67	4.76	4.56	4.31	4.00	4.15	4.00	4.40	4.00	4.17	4.04	4.14	3.78	4.52	4.15	4.68	4.68	4.28
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	3.70	4.42	4.67	4.56	4.19	4.00	4.25	3.71	4.34	4.12	4.25	3.79	4.16	3.47	4.70	4.25	4.53	4.51	4.20
14	新しい知識や好奇心が得られた。	3.70	4.54	4.76	4.58	4.13	3.71	4.33	3.91	4.40	4.38	4.38	4.09	4.30	3.92	4.74	4.33	4.68	4.64	4.31
15	論理的に考えられるようになった。	3.60	4.22	4.31	3.95	3.94	3.86	3.75	3.72	3.96	3.86	4.04	3.55	3.84	3.35	4.15	3.75	3.99	4.01	3.88
16	問題発見・解決能力が得られた。	3.70	4.04	4.36	4.02	3.88	3.86	3.77	3.78	3.90	3.86	4.13	3.66	3.96	3.31	4.20	3.77	4.11	3.99	3.90
		58.50	68.80	69.51	67.67	66.26	61.14	64.83	64.37	68.50	66.05	69.92	61.06	65.93	55.91	71.77	64.83	70.29	69.03	65.80

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	平均
学 期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名	災害看護学	卒業研究Ⅱ											
受 講 者	98名	20名	96名	5名	16名	5名	8名	8名	7名	9名	8名		
回 答 数	93名	6名	25名	2名	3名	2名	2名	4名	2名	1名	3名		
回 答 率	94.9%	30.0%	26.0%	40.0%	18.8%	40.0%	25.0%	50.0%	28.6%	11.1%	37.5%		
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4.31	4.50	4.16	3.50	3.67	4.00	4.00	5.00	3.50	4.00	4.00	4.06
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4.38	4.33	4.28	3.50	4.00	4.50	4.50	5.00	4.00	4.00	4.00	4.23
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4.40	4.00	4.24	4.00	3.67	5.00	4.00	5.00	4.00	4.00	4.33	4.24
4	提供された資料などは適切だった。	4.47	4.50	4.48	4.00	3.67	4.50	4.50	5.00	4.50	5.00	4.67	4.48
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4.46	3.67	4.20	4.00	3.33	4.00	4.50	5.00	5.00	5.00	4.33	4.32
6	授業は分かりやすかった。	4.48	4.50	4.44	4.00	3.67	5.00	4.50	5.00	4.00	5.00	4.33	4.45
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4.35	3.67	4.08	4.00	3.33	4.00	4.50	5.00	4.00	4.00	4.33	4.12
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4.42	4.50	4.40	4.50	3.33	4.00	5.00	5.00	4.00	5.00	4.33	4.41
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4.48	4.50	4.64	4.50	3.67	5.00	5.00	4.75	5.00	5.00	5.00	4.69
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4.34	4.33	4.52	4.50	3.67	5.00	4.50	5.00	4.50	5.00	4.67	4.55
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4.39	4.67	4.52	4.00	3.33	5.00	4.50	4.75	5.00	5.00	4.67	4.53
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4.49	4.50	4.64	4.50	4.00	5.00	4.50	5.00	5.00	5.00	4.67	4.66
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4.46	4.17	4.48	4.50	3.33	5.00	4.50	5.00	5.00	5.00	4.67	4.56
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4.48	4.17	4.56	4.50	4.00	5.00	4.50	5.00	5.00	5.00	4.67	4.63
15	論理的に考えられるようになった。	4.42	4.33	4.60	4.50	4.00	5.00	4.50	5.00	5.00	5.00	4.67	4.64
16	問題発見・解決能力が得られた。	4.43	4.17	4.40	4.50	3.33	5.00	4.50	4.75	5.00	5.00	4.33	4.49
		70.78	68.50	70.64	67.00	58.00	75.00	72.00	79.25	72.50	76.00	71.67	71.03

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	平均	
学 期	後学期	後学期	後学期	後学期		
科 目 名	保健指導論	母性看護学 援助論	小児看護学 援助論	在宅看護学 援助論		
受 講 者	17名	103名	104名	104名		
回 答 数	17名	47名	45名	52名		
回 答 率	100.0%	45.6%	43.3%	50.0%		
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4.41	4.02	4.16	3.92	4.13
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4.47	4.09	4.11	4.00	4.17
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4.47	4.13	4.18	4.15	4.23
4	提供された資料などは適切だった。	4.59	4.15	4.09	3.98	4.20
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4.35	4.13	4.09	4.08	4.16
6	授業は分かりやすかった。	4.59	4.21	4.04	4.04	4.22
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4.71	4.21	4.09	3.73	4.18
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4.71	4.21	4.09	4.31	4.33
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4.75	4.30	4.27	4.29	4.40
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4.65	4.26	4.24	4.17	4.33
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4.41	4.21	4.24	4.23	4.27
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4.50	4.21	4.31	4.29	4.33
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4.56	4.21	4.16	4.10	4.26
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4.63	4.26	4.27	4.27	4.35
15	論理的に考えられるようになった。	4.44	4.02	4.07	4.02	4.14
16	問題発見・解決能力が得られた。	4.53	4.13	4.09	3.98	4.18

72.76    66.74    66.49    65.56    67.89

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	平均
学 期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名	英語文献 講読	病態 治療学Ⅳ	病態 治療学Ⅴ	環境保健学	疫学	保健医療福 祉行政論	社会福祉学	治療・回復過程 援助論Ⅰ	療養生活 支援論Ⅰ	健康教育論	リハビリテーション 学論	母性看護学 概論	小児看護学 概論	老年看護学 概論	精神看護学 概論	家族看護論	在宅看護学 概論	地域看護学 概論	学校看護学	産業看護学	国際看護学			
受 講 者	3名	96名	97名	96名	102名	98名	98名	96名	96名	87名	97名	98名	97名	98名	96名	97名	97名	96名	61名	88名	97名			
回 答 数	3名	6名	3名	16名	18名	19名	81名	13名	22名	70名	11名	6名	13名	37名	27名	6名	7名	9名	2名	12名	22名			
回 答 率	100.0%	6.3%	3.1%	16.7%	17.6%	19.4%	82.7%	13.5%	22.9%	80.5%	11.3%	6.1%	13.4%	37.8%	28.1%	6.2%	7.2%	9.4%	3.3%	13.6%	22.7%			
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4.00	3.50	4.00	4.19	4.33	4.11	3.75	3.92	3.91	4.16	4.00	4.17	4.15	4.14	4.07	4.17	4.29	4.11	3.00	4.00	4.23	4.01	
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4.33	3.50	4.00	4.19	4.33	4.16	3.78	4.08	3.91	4.19	4.00	4.00	4.15	4.16	4.04	4.00	4.14	4.33	3.50	4.00	4.32	4.05	
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4.67	3.50	4.00	4.00	4.33	4.00	3.79	4.31	3.91	4.26	4.00	4.17	4.23	4.22	4.33	4.50	4.43	4.33	4.00	4.17	4.59	4.18	
4	提供された資料などは適切だった。	4.67	3.83	4.00	4.00	4.33	3.79	3.54	4.23	3.91	4.26	4.03	4.17	4.38	4.03	4.26	4.00	4.00	4.33	3.00	3.25	4.55	4.03	
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4.33	3.00	4.00	3.69	4.22	3.84	3.38	4.00	3.91	4.19	3.97	4.00	3.92	3.78	4.26	4.17	4.29	4.22	3.00	3.58	4.59	3.92	
6	授業は分かりやすかった。	4.67	3.33	4.33	3.81	4.56	3.79	3.42	4.08	3.91	4.24	3.97	4.33	4.38	3.89	4.19	4.17	4.14	4.33	3.00	3.67	4.64	4.04	
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	3.33	3.33	4.00	4.00	4.39	3.84	3.31	4.23	3.91	4.06	3.93	4.17	4.46	3.84	4.15	3.83	3.86	4.22	3.00	3.50	4.55	3.90	
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4.33	3.50	4.00	4.19	4.50	4.16	3.79	4.08	3.91	4.23	3.93	4.00	4.15	4.19	4.26	4.33	4.43	4.44	3.50	3.83	4.45	4.11	
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4.67	3.50	4.00	4.06	4.50	4.05	3.70	4.15	3.91	4.33	4.28	4.17	4.15	4.14	4.30	4.17	4.43	4.33	4.00	3.75	4.41	4.14	
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4.33	3.17	4.00	3.94	4.28	3.68	3.55	3.85	3.91	4.21	4.14	4.00	3.92	3.81	4.19	4.00	4.14	4.22	4.00	3.42	4.27	3.95	
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4.33	3.33	4.00	4.00	4.28	3.79	3.57	3.85	3.91	4.37	4.10	4.00	3.62	4.00	4.11	4.17	4.14	4.33	4.00	3.50	4.36	3.99	
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4.33	3.67	4.00	3.81	4.11	4.05	3.65	4.23	3.91	4.34	4.21	4.17	4.15	4.16	4.37	4.17	4.43	4.22	4.00	3.83	4.45	4.11	
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4.67	3.33	4.00	3.88	4.11	4.00	3.57	4.08	3.91	4.23	4.00	4.33	4.23	3.86	4.33	4.00	4.29	4.33	3.50	3.75	4.50	4.04	
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4.67	3.67	4.00	4.13	4.22	4.11	3.64	4.15	3.91	4.29	4.07	4.33	4.15	4.11	4.33	4.00	4.29	4.22	3.50	3.83	4.59	4.11	
15	論理的に考えられるようになった。	4.33	3.17	3.67	3.81	4.00	3.74	3.57	3.85	3.91	4.13	4.03	4.33	3.92	3.84	3.89	3.83	4.14	3.89	3.50	3.50	4.09	3.86	
16	問題発見・解決能力が得られた。	4.33	3.50	3.67	3.75	4.00	3.74	3.59	4.00	3.91	4.11	4.03	4.33	3.92	3.81	3.89	3.83	4.29	4.00	4.00	3.50	4.18	3.92	
		70.00	54.83	63.67	63.44	68.50	62.84	57.60	65.08	62.55	67.59	64.69	66.67	65.92	63.97	66.96	65.33	67.71	67.89	56.50	59.08	70.77	64.36	



授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年		4 学年次	4 学年次	4 学年次	平均	
学 期		前学期	前学期	前学期		
科 目 名		母性看護学 実習	小児看護学 実習	在宅看護学 実習		
受 講 者		101名	100名	102名		
回 答 数		94名	25名	14名		
回 答 率		93.1%	25.0%	13.7%		
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4.85	4.76	4.64	4.75
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.76	4.48	4.29	4.51
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.83	4.60	4.57	4.67
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.88	4.88	4.86	4.87
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.87	4.48	4.57	4.64
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.64	4.16	4.43	4.41
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.54	4.00	4.07	4.20
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4.63	3.48	4.50	4.20
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.78	4.20	4.50	4.49
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.83	4.00	4.57	4.47
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.86	4.12	4.57	4.52
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.82	4.28	4.50	4.53
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.68	3.08	3.21	3.66
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.70	3.00	3.36	3.69
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.86	4.20	4.64	4.57
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.79	4.28	4.21	4.43
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.77	4.00	4.57	4.45
	18	実習は有意義であった。	4.80	4.16	4.43	4.46
		85.88	74.16	78.50	79.51	

II この実習を通して得たもの

新しい知識	59.57%	92.00%	92.86%	81.48%
知的好奇心(関心)	45.74%	36.00%	57.14%	46.30%
物事を見る視野	25.53%	72.00%	85.71%	61.08%
課題発見・解決能力	32.98%	56.00%	42.86%	43.95%
論理的思考能力	29.79%	52.00%	50.00%	43.93%
記述・表現・プレゼンテーション能力	23.40%	32.00%	7.14%	20.85%
教員や学生との交流	38.30%	24.00%	50.00%	37.43%
看護の実践能力	28.72%	8.00%	7.14%	14.62%
医療者・専門職者としての態度	12.77%	36.00%	21.43%	23.40%
看護倫理に基づいた行動	13.83%	64.00%	50.00%	42.61%
その他	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年		3 学年次	3 学年次	平均	
学 期		前学期	前学期		
科 目 名		地域看護援助実習(特)	老年看護学実習 I		
受 講 者		1名	103名		
回 答 数		1名	8名		
回 答 率		100.0%	7.8%		
学生 の 自己 評価	1	実習に積極的に出席した。	5.00	4.50	4.75
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	5.00	4.50	4.75
	3	実習には自主的に取り組んだ。	5.00	4.63	4.81
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	5.00	4.75	4.88
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	5.00	4.63	4.81
実習方法・ 内容への 評価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	5.00	4.38	4.69
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	5.00	4.63	4.81
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	5.00	4.63	4.81
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	5.00	4.50	4.75
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	5.00	4.13	4.56
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	5.00	4.63	4.81
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	5.00	4.00	4.50
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	5.00	3.50	4.25
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.00	3.38	3.69
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	5.00	4.63	4.81
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	5.00	4.75	4.88
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	5.00	4.25	4.63
	18	実習は有意義であった。	5.00	4.13	4.56
		89.00	78.50	83.75	

II この実習を通して得たもの

新しい知識	100.00%	87.50%	93.75%
知的好奇心(関心)	100.00%	50.00%	75.00%
物事を見る視野	100.00%	87.50%	93.75%
課題発見・解決能力	100.00%	50.00%	75.00%
論理的思考能力	0.00%	50.00%	25.00%
記述・表現・プレゼンテーション能力	0.00%	75.00%	37.50%
教員や学生との交流	100.00%	25.00%	62.50%
看護の実践能力	0.00%	50.00%	25.00%
医療者・専門職者としての態度	0.00%	50.00%	25.00%
看護倫理に基づいた行動	0.00%	12.50%	6.25%
その他	0.00%	0.00%	0.00%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年		2 学年次	平均	
学 期		前学期		
科 目 名		基礎看護学 実習		
受 講 者		99名		
回 答 数		97名		
回 答 率		98.0%		
学生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4.82	4.82
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.64	4.64
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.68	4.68
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.59	4.59
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.47	4.47
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.69	4.69
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.57	4.57
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4.51	4.51
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.71	4.71
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.54	4.54
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.69	4.69
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.68	4.68
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.32	4.32
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.04	4.04
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.58	4.58
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.74	4.74
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.32	4.32
	18	実習は有意義であった。	4.68	4.68
		82.28	82.28	

II この実習を通して得たもの

新しい知識	88.66%	88.66%
知的好奇心(関心)	60.82%	60.82%
物事を見る視野	58.76%	58.76%
課題発見・解決能力	67.01%	67.01%
論理的思考能力	55.67%	55.67%
記述・表現・プレゼンテーション能力	38.14%	38.14%
教員や学生との交流	61.86%	61.86%
看護の実践能力	65.98%	65.98%
医療者・専門職者としての態度	35.05%	35.05%
看護倫理に基づいた行動	38.14%	38.14%
その他	0.00%	0.00%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年		1 学年次	平均	
学 期		前学期		
科 目 名		看護入門 実習		
受 講 者		103名		
回 答 数		91名		
回 答 率		88.3%		
学生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4.80	4.80
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.73	4.73
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.59	4.59
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.88	4.88
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.44	4.44
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.47	4.47
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.58	4.58
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	3.73	3.73
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.88	4.88
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.38	4.38
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.68	4.68
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.51	4.51
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.29	4.29
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	3.38	3.38
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.70	4.70
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.58	4.58
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.24	4.24
	18	実習は有意義であった。	4.74	4.74
		80.60	80.60	

II この実習を通して得たもの

新しい知識	93.41%	93.41%
知的好奇心(関心)	84.62%	84.62%
物事を見る視野	69.23%	69.23%
課題発見・解決能力	62.64%	62.64%
論理的思考能力	39.56%	39.56%
記述・表現・プレゼンテーション能力	56.04%	56.04%
教員や学生との交流	69.23%	69.23%
看護の実践能力	19.78%	19.78%
医療者・専門職者としての態度	73.63%	73.63%
看護倫理に基づいた行動	54.95%	54.95%
その他	0.00%	0.00%



授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年		3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	平均	
学 期		後学期	後学期	後学期	後学期		
科 目 名		治療・回復過程援助実習	療養生活支援実習	老年看護学実習Ⅱ	精神看護学実習		
受 講 者		107名	104名	103名	103名		
回 答 数		99名	98名	81名	60名		
回 答 率		92.5%	94.2%	78.6%	58.3%		
学生 の 自己 評価	1	実習に積極的に出席した。	4.78	4.80	4.78	4.88	4.81
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.63	4.66	4.54	4.75	4.64
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.72	4.71	4.69	4.77	4.72
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.73	4.79	4.84	4.87	4.81
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.72	4.72	4.67	4.81	4.73
実習 方法 ・ 内容 への 評価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.43	4.49	4.51	4.48	4.48
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.46	4.57	4.52	4.55	4.53
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4.43	4.44	4.49	4.28	4.41
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.58	4.58	4.54	4.69	4.60
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.48	4.56	4.51	4.65	4.55
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.59	4.64	4.70	4.68	4.66
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.54	4.59	4.60	4.55	4.57
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.56	4.70	4.48	4.58	4.58
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.50	4.57	4.05	4.52	4.41
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.58	4.59	4.51	4.57	4.56
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.57	4.56	4.51	4.63	4.57
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.32	4.53	4.41	4.65	4.48
	18	実習は有意義であった。	4.63	4.63	4.55	4.73	4.63
		82.26	83.14	81.90	83.66	82.74	

II この実習を通して得たもの

新しい知識	66.67%	60.20%	53.09%	60.00%	59.99%
知的好奇心(関心)	31.37%	25.51%	28.40%	48.33%	33.40%
物事を見る視野	38.24%	34.69%	43.21%	45.00%	40.28%
課題発見・解決能力	43.14%	44.90%	39.51%	31.67%	39.80%
論理的思考能力	28.43%	28.57%	25.93%	23.33%	26.57%
記述・表現・プレゼンテーション能力	16.67%	22.45%	16.05%	8.33%	15.87%
教員や学生との交流	29.41%	34.69%	37.04%	40.00%	35.29%
看護の実践能力	25.49%	24.49%	19.75%	20.00%	22.43%
医療者・専門職者としての態度	17.65%	18.37%	16.05%	25.00%	19.27%
看護倫理に基づいた行動	17.65%	20.41%	14.81%	25.00%	19.47%
その他	0.00%	0.00%	0.00%	1.67%	0.42%